

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
温熱感受性受容体の作動薬を基にしたダリエー病の治療薬の開発	高橋 健造	皮膚科	2,860,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
siRNAを用いたサイトカイン制御による円形脱毛症治療法の開発	中村 元信	皮膚科	2,210,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
色素性乾皮症バリエーション群の遺伝子診断法を確立する。	谷岡 未樹	皮膚科	1,500,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
前立腺癌のホルモン不応性獲得におけるプロスタグランジンE <sub>2</sub> (PGE <sub>2</sub> )受容体の関与	小川 修	泌尿器科	2,000,000	補 委 小野薬品株式会社
食道ガン及び腎臓ガン診断用DNAチップの評価・検証及び成果普及事業	小川 修 嶋田 裕	泌尿器科	4,500,000	補 委 東レ(株)
治療アウトカムに立脚した泌尿器科がんの治療反応性予測のための分子マーカーの開発	小川 修	泌尿器科	5,300,000	補 委 文部科学省特定領域研究継続
泌尿器科がんの統合的OMICSデータの臨床応用を目指した検証研究	小川 修	泌尿器科	9,620,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)継続
細胞内ストレス応答経路の制御による化学療法耐性克服の分子メカニズムと臨床応用	松井喜之(DC1) 小川修教授	泌尿器科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
新規樹立細胞株とXenograftを用いた前立腺癌に対する治療標的分子の同定	小林恭(DC1) 小川修教授	泌尿器科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	賀本 敏行	泌尿器科	1,000,000	補 委 がん臨床研究事業新規
新規樹立Xenograftを用いた前立腺癌アンドロゲン非依存性増殖機構の解明	賀本 敏行	泌尿器科	3,380,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
細胞培養上清のProterme解析による尿路性器癌腫瘍マーカーの同定	中村 英二郎	泌尿器科	2,340,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
ナノ複合体ベクターによる受容体ターゲティングを利用した膀胱特異的遺伝子治療法	兼松 明弘	泌尿器科	1,950,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
腫瘍Redox応答系を用いた尿路性器癌における転移病巣特異的分子標的治療の開発	宗田 武	泌尿器科	1,690,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
腎細胞癌の腫瘍血管微細構造に着目した抗血管新生療法感受性に関する研究	神波 大己	泌尿器科	1,690,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
膀胱発癌におけるG1-S期制御蛋白蓄積機序の解明と新規膀胱注化学療法開発への応用	渡部 淳	泌尿器科	890,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
内耳再生医療技術の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	10,000,000	補 委 文部科学省
各種生理活性物質の内耳傷害抑制・再生に関する基礎的検討2	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	2,002,000	補 委 小野薬品株式会社
脂肪細胞由来幹細胞を用いた内耳再生に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,620,000	補 委 オリンパス株式会社
ナノテクノロジー、再生医学を融合した人工内耳。人工蝸牛の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	23,600,000	補 委 感覚器障害研究事業継続
前庭機能異常に関する調査研究	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委 難治性疾患克服研究事業新規
内耳再生医療の内耳疾患モデルへの応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	13,520,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)継続
移植ES細胞と蝸牛有毛細胞の有機的結合による聴覚機能再生	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,600,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
喉頭機能温存手術における再生医療の臨床応用	田中 信三	耳鼻咽喉科	2,730,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
ドラッグデリバリーシステムを用いた細胞増殖因子による声帯萎縮の治療	平野 滋	耳鼻咽喉科	2,000,000	補 委 文部科学省萌芽研究新規
先天性・後天性高度難聴者の語音処理における聴皮質の変化	平海 晴一	耳鼻咽喉科	2,000,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
ナノテクノロジー、再生医学を融合した人工内耳・人工蝸牛の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	23,600,000	補 委 厚生労働省特定疾患調査研究費
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	中川隆之	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	12,000,000	補 委 厚生労働省特定疾患調査研究費
ヒト骨三次元構造を有する高強度・骨結合性人工骨の開発	中村 孝志	整形外科	16,351,450	補 委 関西ティール・オー(株)
生体活性を有する多孔体チタンの運動器再建への応用	中村 孝志	整形外科	15,730,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
骨特異的新規分泌タンパクHA4の基礎研究および臨床応用	秋山 治彦	整形外科	4,680,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
関節軟骨の質的評価 - 遅延相造影核磁気共鳴断層像と超音波反射波解析による比較	中川 泰彰	整形外科	6,630,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
低含水率ポリビニルアルコール人工椎間板の椎間板変性抑制効果	根尾 昌志	整形外科	2,340,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
新規癌関連蛋白C7orf24を標的とした骨軟部肉腫の分子標的治療	中山 富貴	整形外科	2,340,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
多孔体人工骨を用いた自己生体内骨組織工学技術の開発	藤林 俊介	整形外科	2,730,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
人工生体材料と評価システムの開発および応用(SRP)	別所 和久	歯科口腔外科	87,800,000	補 委 トヨタ自動車(株)
歯科口腔領域におけるアドレノメデュリンの有効性に関する研究	中尾一祐(DC1) 別所和久教授	歯科口腔外科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費新規
BMP2発現アデノウイルスベクターおよび吸収性材料による骨再生に関する研究	海原 真治	歯科口腔外科	1,320,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
MR装置の基本性能向上①基本画質の向上②基本機能の向上	富樫 かおり	放射線診断科	2,970,000	補 委 東芝メディカルシステムズ(株)
マルチスライスCT検査における患者負担の軽減と臨床応用	富樫 かおり	放射線診断科	1,000,000	補 委 東芝メディカルシステムズ(株)
3テスラ超高磁場MRIを用いた肝細胞癌の検出能の最適化及び分化度推定法の開発	前谷 洋爾	放射線診断科	1,950,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
フルオロチミジンを用いた悪性腫瘍に対する放射線・化学療法後のPET診断	中本 裕士	放射線診断科	1,690,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
がんの超早期診断・治療のための高感度分子イメージングプローブの開発	中本 裕士	放射線診断科	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費(医療機器開発推進研究事業)
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3:PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 真寛	放射線治療科	14,498,400	補 委 日本メジフィジックス(株)
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3:PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 真寛	放射線治療科	595,844,537	補 委 技術研究組合医療福祉機器研究所

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15